

(仮称) 台東区自転車活用推進計画の策定に係る基礎調査の結果について

1 調査の目的

区は、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進するため「(仮称) 台東区自転車活用推進計画」の策定に向け検討を進めている。本調査は、区内における自転車の利用実態や、区民等の要望等を把握し、計画を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

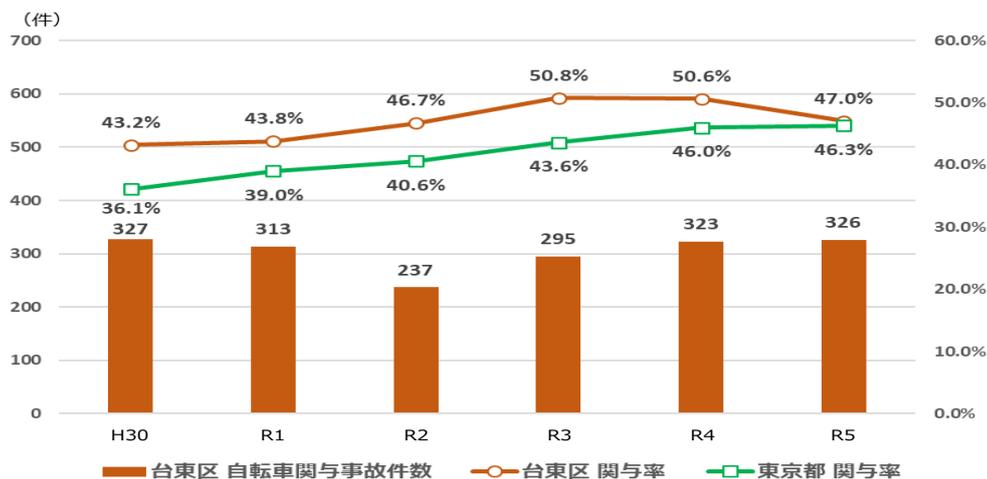
2 調査結果

別紙「(仮称) 台東区自転車活用推進計画基礎調査結果」のとおり

(1) 自転車を取り巻く現状の整理

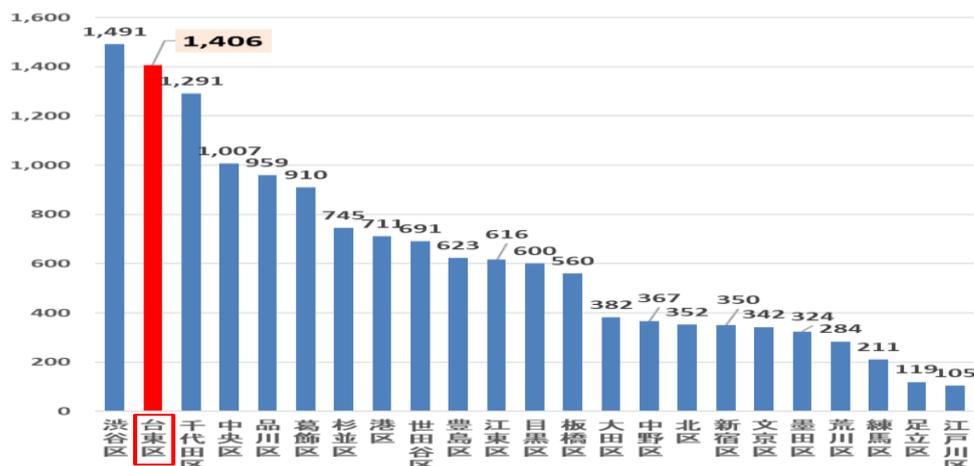
ア 自転車関連事故の推移

区内における自転車関連事故は、交通事故全体の約半数を占めている。



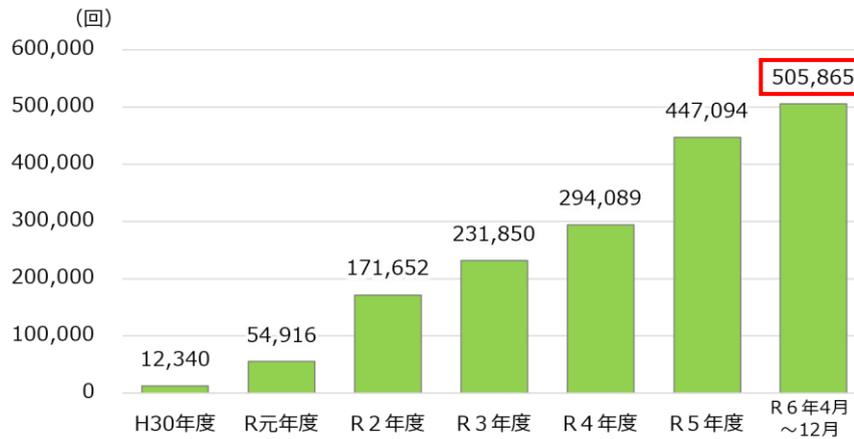
イ 放置自転車の状況 (令和5年10月時点)

放置自転車の台数は約1,400台であり、23区で2番目に多い水準である。



ウ シェアサイクル利用回数の推移

シェアサイクルの利用回数は毎年増加しており、令和6年度は12月末の時点で50万回を超えている。



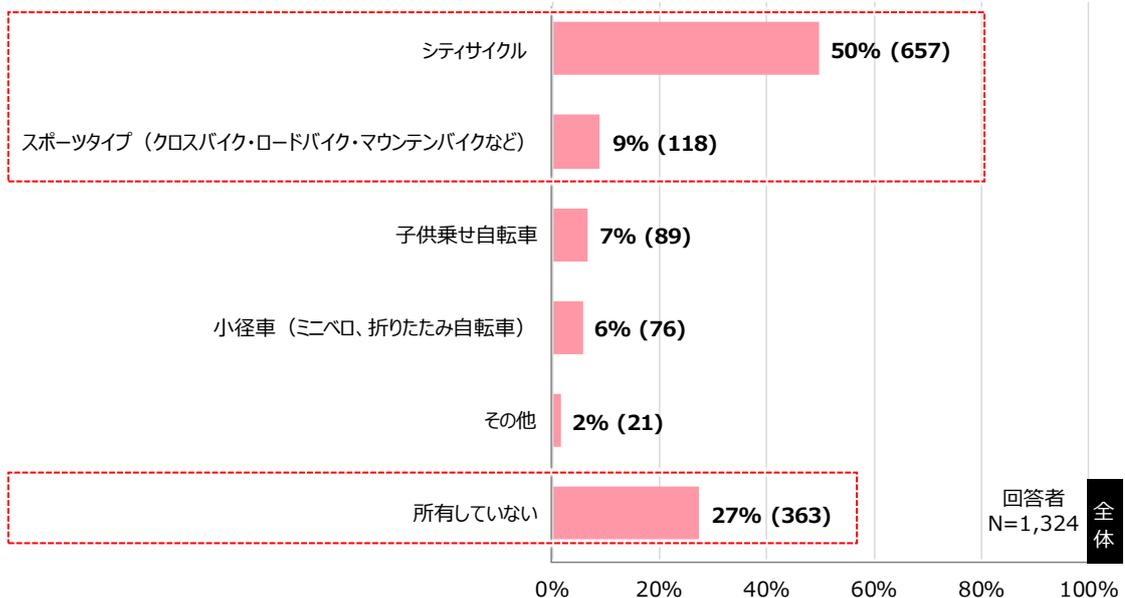
(2) 区民・高校生へのアンケート調査

ア 調査の概要

対象	調査方法	結果
18歳以上の区民	区民2,500世帯を無作為抽出し、アンケート用紙を郵送(1世帯当たり2票) / 回答は郵送またはWEB	1,152票 回収率23%
高校生	区内高等学校(2校)2年生を対象とし、アンケート用紙を配布 / 回答はWEB	194票 回収率36%

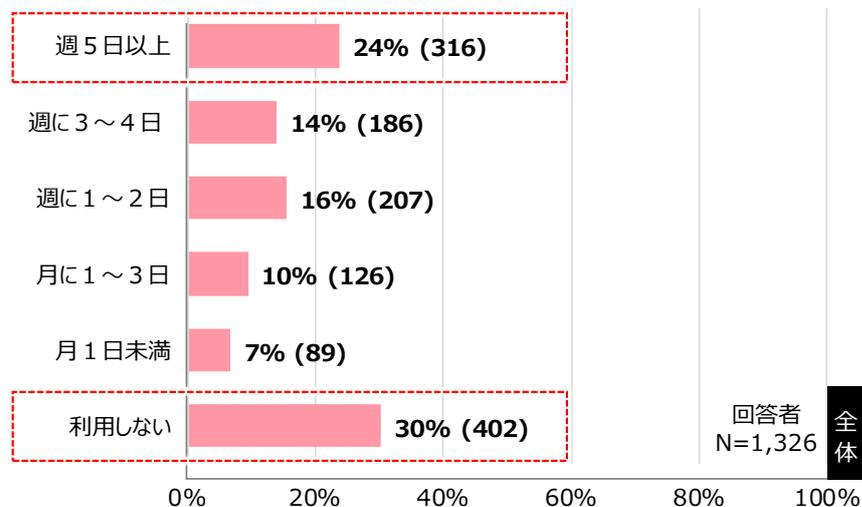
イ 自転車の保有状況

自転車の保有状況はシティサイクルが最も多く、次にスポーツタイプが多くを占めている。一方で、自転車を保有しない人は約3割である。



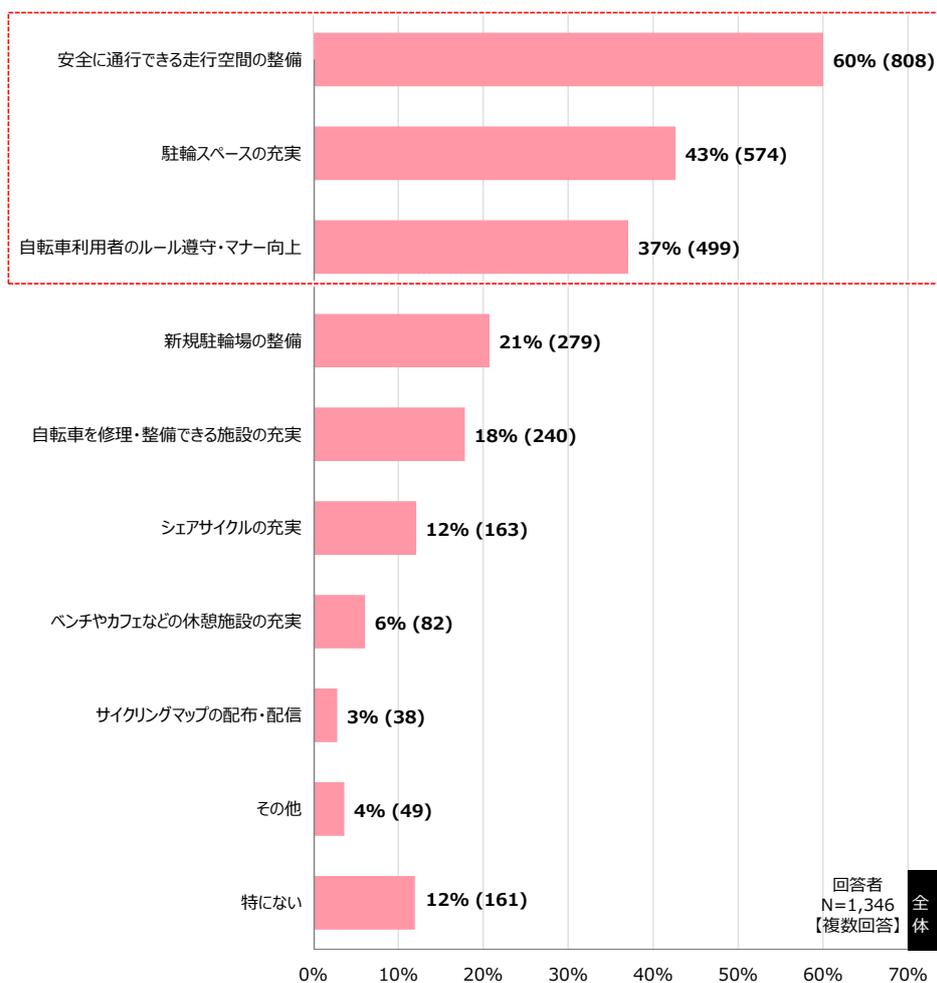
## ウ 自転車の利用頻度

「利用しない」が約3割であり、それ以外では「週5回以上」が最も多い。



## エ 自転車利用環境へのニーズ

「安全に通行できる走行空間の整備」が最も多く、次に「駐輪スペースの充実」「自転車利用者のルール遵守・マナー向上」が多くを占めている。



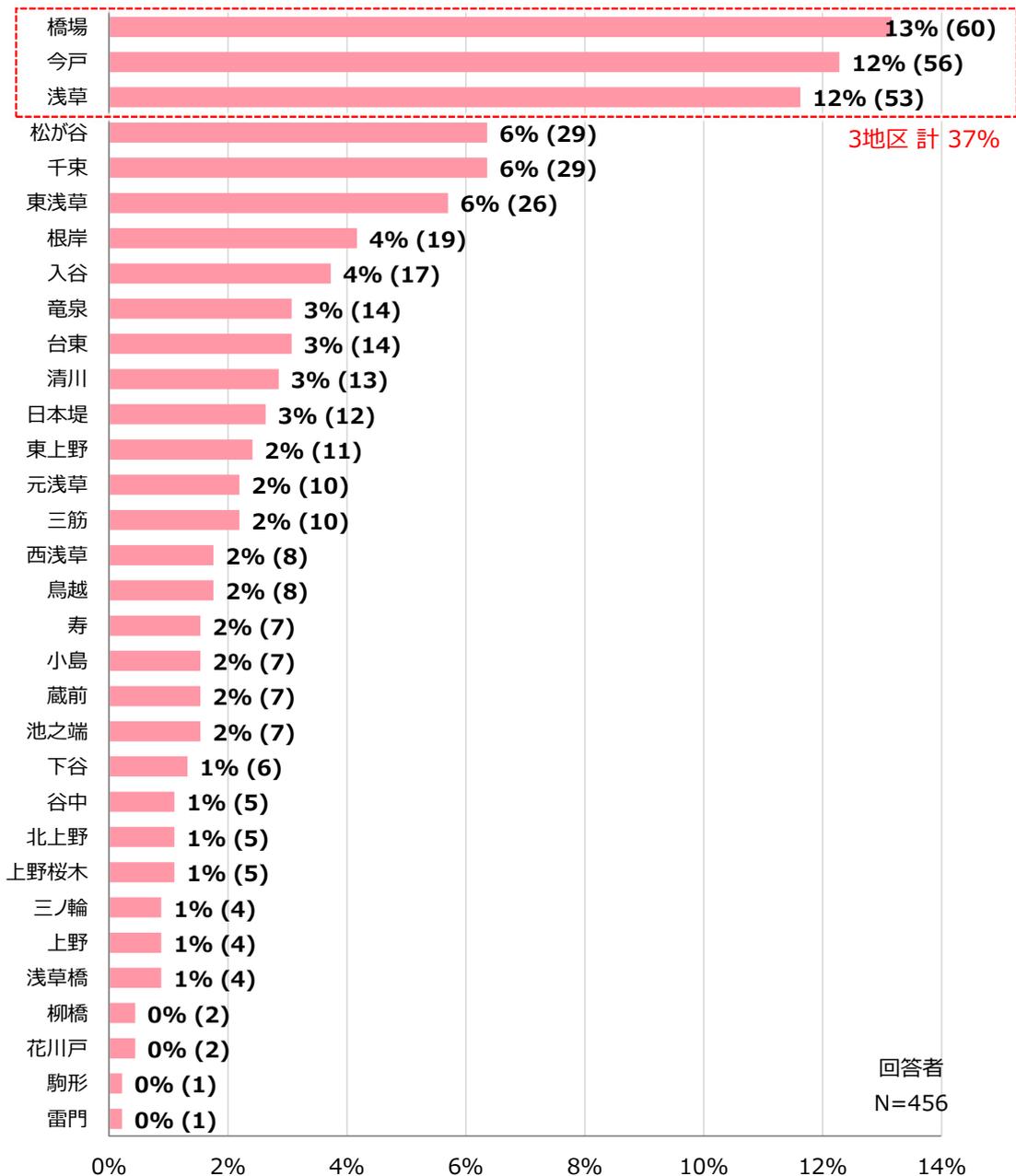
(3) 自転車駐車場利用者へのアンケート調査

ア 調査の概要

対象	調査方法	結果
区内自転車駐車場利用者	自転車ハンドルに二次元コード付きアンケート依頼書を配布 / 回答はWEB	755票 回収率15%

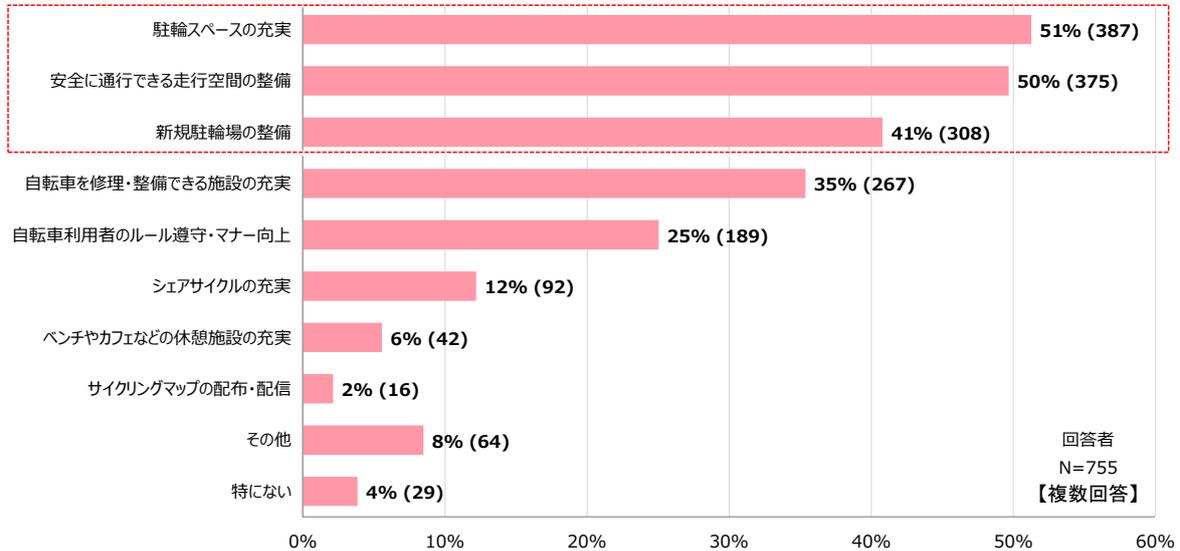
イ 利用者のうち、台東区民の住所

「橋場」「今戸」「浅草」の順に多く、3地区合計で4割近くを占める。



### ウ 自転車利用環境へのニーズ

「駐輪スペースの充実」が最も多く、約5割を占めている。次に「安全に通行できる走行空間の整備」「新規駐輪場の整備」が多くを占めている。



### (4) 事業者ヒアリング

	主な意見
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs等を踏まえると「所有」から「シェア」へ、という考え方も重要となる。需要に合わせた駐輪場整備だけでなく、シェアモビリティの普及に関する施策についても期待している。</li> </ul>
交通安全協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全教育を受ける機会がない人や交通安全の意識が低い人に対して、どのように啓発していくかが課題</li> <li>・「自転車＝歩行者」であった期間が長過ぎたため、「自転車＝車両」という意識付けが大きな課題</li> </ul>
大規模商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太いタイヤの自転車等、従来のラックでは駐車できないタイプの自転車への対処が課題</li> <li>・施設利用以外の目的（通勤、通学等）における駐輪場利用が課題</li> </ul>
障害者団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道を通行する自転車や横断歩道を横切る自転車に対して、怖さや危険を感じる。</li> <li>・歩道等に止められた自転車に引っかかることがある。</li> </ul>

### 3 今後の予定

令和7年第4回定例会	(仮称)台東区自転車活用推進計画中間のまとめの報告
12月	パブリックコメントの実施
令和8年第1回定例会	(仮称)台東区自転車活用推進計画最終案の報告
3月	計画策定